

クロソイ種苗の中間育成における飼育密度と給餌回数 の検討

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産総合研究センター 公開日: 2025-04-24 キーワード: 作成者: 中川, 雅弘, 大河内, 裕之 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014542

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



クロソイ種苗の中間育成における飼育密度と給餌回数の検討

中川雅弘・大河内裕之

クロソイの中間育成経費の低減を目的として、飼育密度および給餌回数を変えた試験を実施した。種苗の収容密度は200尾/kl, 400尾/kl, 800尾/kl, 1日の給餌回数1回または2回の6試験区を設定した。42日後の生残率は99.9~100%, 日間成長率は3.3~3.5%となり、区間で差はなかった。しかし、飼料効率は1日に1回給餌する区が2回給餌する区に比べて高かった。また、全長40 mmの種苗を100 mmまで飼育する場合は、収容密度を800尾/klにすることで200尾/klより1尾あたり約10円、給餌回数を1日1回にすることで1尾あたり約1円を低減することが可能と計算された。

栽培技研, 30(2), 55-60, 2003